

小坂よしひさ 粋いき台東へ 身近な区民のサポーター！ 台東粋いき新聞

—KOMEITO—
公明党
令和3年度秋号
31号



何かありましたら、ご相談下さい

新型コロナウイルスワクチンに関する問合せ

台東区コロナワクチン 相談専用ダイヤル
TEL 03-6834-7410
(午前9時～午後6時、土・日曜日・祝日も対応)

家賃でお困りの方

住居確保給付金 台東区役所
保護課 生活困窮者支援担当
TEL 03-5246-1158
収入や家賃の金額により支給額が変わります。

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

TEL 0120-761-770
(午前9時～午後9時、土・日曜日・祝日も対応)

生活費でお困りの方

生活福祉資金(総合支援資金)
台東区社会福祉協議会 生活支援室
TEL 03-5828-7547
8時30分から17時15分(土日、祝日はお休み)
離職・減収により日常生活全般に困窮を抱えた
「世帯」の生活の立て直しのために、
継続的な相談支援と貸付を行う制度です。
(詳細はお問い合わせ下さい)

発熱等の症状がある場合の相談窓口

台東区 発熱受診相談センター
TEL 03-3847-9402
(月～金曜日 午前9時～午後5時)
※祝日を除く

FAX 03-3841-4325
※聴覚に障害のある方などからの相談

東京都発熱相談センター(24時間)

TEL 03-5320-4592

緊急経営相談ダイヤル

中小企業診断士が直接電話相談に応じます。
TEL 03-5829-8078
相談時間 火曜日 午前10時～午後3時
木曜日 午後3時～7時
(祝日を除く)

区議会公明党 新しい陣容で出発しました！

台東区議会第1回臨時会(5月17日)において議会三役が選任。
また区議会公明党として新たな陣容でスタートいたしましたので紹介いたします。



【会派構成】
区議会公明党幹事長 小坂 義久
副幹事長 寺田 晃
政調会長 松尾 伸子
会計 寺田 晃

【所属委員会】
企画総務常任委員会 ▶ 寺田 晃
区民文教常任委員会 ▶ 小坂 義久(委員長)、小菅 千保子
保健福祉常任委員会 ▶ 松尾 伸子
産業建設常任委員会 ▶ 中澤 史夫
子育て・若者支援特別委員会 ▶ 小菅 千保子、寺田 晃
環境・安全安心特別委員会 ▶ 松尾 伸子(委員長)、小坂 義久
文化・観光特別委員会 ▶ 寺田 晃、中澤 史夫
交通対策・地区整備特別委員会 ▶ 小坂 義久、中澤 史夫



台東区議会議員
台東区議会公明党幹事長

小坂よしひさ

御用の際はお気軽にご連絡ください。

■ 公明党控室(区役所7階)
TEL.03-5246-1485 FAX.03-5246-1488
■ 携帯電話:090-2337-7636

日頃の活動を
ホームページで発信中!
是非ご覧ください。



令和3年
第2回定例会

一般質問で登壇



小坂よしひさです。

公明党を代表して2月19日の代表質問に引き続き、6月9日に質問を行いましたので要旨と答弁を掲載します。

新型コロナウイルスワクチン接種への 取り組み体制について

Q 区として、一大プロジェクトであるワクチン接種
に対してどのような体制で取り組んでいるのか。

A 区長
本年1月、担当部署を設置し4月には担当部門
を新設。接種会場の整備や調整など準備を進めて
きた。運営に当たって部課長等を配置した会場運
営など全庁を挙げて取り組んでいる。

災害対策について

Q ①「次の災害は必ず来る」という視点に立ち、事前
対策を進めることが大切と考える。いつ災害が
発生してもすぐ対策を打てるよう事前対策を講じ
るべきであると考えているがいかがか。
②「個別避難計画」の作成について、又、作成に
おける各所管の連携について伺う。

A 区長
①令和元年の台風19号の課題を踏まえ風水害対応
方針を策定。その内容を反映させ、運営体制の
強化を図りタイムラインの作成、従事職員の研
修など庁内体制の整備を進める。
②今後3年間で計画の作成を進める。また庁内検
討委員会による関係課の連携体制のもと調整を
進めていく。

孤立防止対策について

Q ①社会的孤立の問題について、どのように認識し
ているのか。
②実態を把握し、抱えている課題を明らかにするこ
とについて伺う。
③中学2年生の17人に1人が「世話をしている家
族がいる」と回答。ヤングケアラーは社会問題
化しており、区内の実態把握を早急に進める事
について伺う。

Q ①学習サポートと福祉サービスの両面から支援を
行うなど、子供に一人で抱え込ませない対策を
講じるべきと考えるがいかがか。

A 区長
①感染症により社会的に孤立している方々が抱え
る問題の深刻さが懸念されており、支援を行う
ことは重要な課題であると認識している。
②「女性のための相談会」や区民意識調査による
「新型コロナウイルス感染症により孤独を感じ
ているか」など実態や課題の把握に努めている
ところである。
③現在ヤングケアラーの状況把握は十分ではなく
今後、様々な関係者に理解を深める取り組みを行
うとともに、日常活動など状況把握に努める。
④早期に適切な支援に繋げる取り組みが必要。教育
委員会と連携を図りながら仕組みについて検討
を進める。

オンラインによるフレイル予防について

Q 地域活動の自粛や外出を控えた結果、筋力や認
知機能の衰え、会話量の減少による口腔機能の低
下などフレイルの進行が危惧される。
ZOOMを活用した双方向によるフレイル対策を
実施すべきであると考えているがいかがか。

A 区長
ZOOMの活用により双方向のコミュニケー
ションが可能となりフレイル対策を広げるもので
あると認識している。そこでZOOMによるフレ
イル予防教室を7月から行っていく。



©KOMEITO

皆様の声をカタチに! 区議会公明党ネットワークからの実績!

誰も孤立させない、つながり、支え合う社会の構築へ ～国会、都議会とのネットワークを駆使しながら～

新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長引く中、子供や若者、女性の自殺が増え、DV・虐待、うつ・ひきこもり、孤独死など社会的孤立の問題は深刻化しています。社会的孤立は様々な問題を生み出すだけでなく、健康悪化や経済的不安定化、社会保障給付費の増大など大きな影響を今後、及ぼすことが懸念されています。これら課題から区議会公明党として、国や東京都議会議員と協議を重ねながら社会的孤立防止対策についてのヒアリング調査や、行政当局への質問や要望など重ねてまいりました。その結果、各種相談窓口において、孤立・孤独等を含む様々な状況に置かれている区民の方への相談を実施しています。また、コロナ禍において生活や就労の面で、特に影響が大きいと思われることから、「女性のための相談会」を実施しました。さらに今年度実施している区民意識調査において、「新型コロナウイルス感染症により孤独を感じているか」についてお聞きするなど、実態や課題の把握に努めており情報共有をより一層図ることで、社会的に孤立している方々に様々な支援が行き届くよう取り組んでまいります。



公明がリード! 広がる女性のコロナ対策!

コロナ禍で浮き彫りとなった問題の一つに、経済的に困窮し、生活必需品の購入もままならない実態があり、女性の尊厳に関わる社会問題であると考え、必要な支援策を強く公明党は推進してきました。女性の貧困に関する取り組みについての要望書を服部台東区長へ提出。公明党区議団として3月12日に提出した、「コロナ禍における女性の負担軽減に関する緊急要望」の中で生理用品の配布についての支援を訴えました。その結果、本年4月より区役所、男女平等推進プラザ、保健所等にて生理用品の配布が実現。公明党は、昨年10月に任意団体である、「#みんなの生理」からの要望を受け、ユーストークミーティングや意見交換会、国会質問や首相に要望提言等行ってまいりました。今後、台東区では、更に公立小・中学校に生理用品を提供し、困っている児童生徒に届くよう、また、そこから生活支援に繋がるように重ねて要望をしております。



女性の視点で災害対策! 安全安心な地域づくり!

区議団で質問や要望など推進してまいりました、災害時における応急物資の調達に関する協定が本年3月に締結(株式会社ぱす様)となりました。大規模災害時に区の備蓄物資で整備できない、液体ミルクや衛生用品等を要請し必要備品を災害時に利用できることとなりました。公明党は阪神淡路大地震の時から海外からの支援物資の中で「液体ミルク」が災害時、赤ちゃんの命を守る必需品であることを確認。その後、東日本大震災など相次ぐ災害時に活用されたことから、



厚労省が推進している女性の健康づくりのための「女性の健康週間」にて、毎年3月1日から8日までの期間、全国各地で公明党女性議員を中心にキャラバン(街頭などで啓発活動)を実施し、このキャラバンを通じて全国で「液体ミルク」を備蓄品とすることを推進してまいりました。

荒川流域治水等の風水害対策に全力!

風水害対策について台東区では荒川氾濫が発生した場合、区内の大部分において2週間以上の浸水が想定されており、そのため荒川流域の治水対策は非常に重要であると考えます。一昨年の台風19号をうけ新たな避難所対策とともに風水害時対応マニュアルや地域防災計画の改定を行い、本年度中に新たな水害ハザードマップの発行も準備されております。更には、避難行動要支援者個別支援計画の作成、避難行動要支援者等対象に新たな防災ラジオの貸与、聴覚障害の希望者に文字情報表示機能付ラジオの貸与も行いました。公明党は、平成27年9月関東・東北豪雨災害(避難勧告約315万人、堤防決壊85河川、住宅全壊81棟、床下浸水13,259棟、非住家被害1,722棟、負傷者82名、死亡者20名)の際に直ちに東京都本部大規模水害対策プロジェクトチームを設置し、荒川治水対策を中心に対策の強化を推進して参りました。本年2月19日には荒川第一調節池内の貯水池から、新たに最大259万m³の水を事前放流することが決定、これにより水害を防ぐ洪水対策が強化され荒川上流部では、更に第二、第三調節池の整備も進められております。



新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望提出! コロナ克服の大きな一手に!

新型コロナウイルスはさらに猛威をふるっておりますが、ワクチン接種もいよいよ大詰め、この令和3年、感染症を何としても克服する一年にして参りたいと願います。公明党区議団は円滑なワクチン接種を進めるべく2月19日、5月14日の2度にわたり、服部区長に48項目の緊急要望を提出しました。併せて、公明党では本年1月20日対策本部を設置し全国的に円滑接種が実施されるよう担当国会議員や全国地方議員と日々情報共有、更には、情報交換を毎日、自治体の担当理事者と状況確認を含め行って参りました。2月28日より3月8日までの期間では、本区のワクチン接種担当所管にも協力、参加いただき「新型コロナウイルスワクチン接種全国自治体意向調査」を行い1287市区町村から回答をいただきました。それぞれ党として国へ働きかけるとともに、国の補助金が自治体で柔軟に活用できるように併せて申し入れ、一つ一つカタチにさせていただきました。



台東区初のインターネットTV型ラジオ『鳥越アズーリFM』で紹介されました。